

## 第1学年1組 道徳授業の流れ

1. 主題名「みんなの学校」 資料名「がっこうにはね」（出典：東京書籍）
2. ゲストティーチャー  
（1年1組保護者）
3. ねらい  
学校の人々に親しみを持ち、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。
4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
1. 学校にいる人たちについて話し合う。 ○九段小学校には、どんな人たちがいますか。  2. 「がっこうにはね」を読んで話し合う。 ○そうくんは、がっこうたんけんをして、どこにどんな人がいることに気付きましたか。 ○「がっこうには、たくさんのひとが いるんだね。」と言ったそうくんは、どんなことを考えていると思いますか。  3. 自分たちの生活を振り返る。 ○みなさんが九段小学校に入学してよかったな、楽しいなと思うことは、どんなことですか。  4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 〈内容〉自分が卒業した九段小学校の好きなおとこや素晴らしさについて、また、今の九段小学校への思いについて話していただく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの学校について考えを膨らませることで、ねらいに沿って考えられるようにする。</li> <li>・資料中の写真を提示し、視覚的にも理解しやすくする。</li> <li>・多くの方が自分たちの楽しい学校生活を支えてくれていることに気付けるようにする。</li> <li>・一人一人の考えや思いを、クラス全体に広げながらみんなのものにしていく。</li> <li>・実際に本校の卒業生の保護者の方から話を伺うことで、「九段小大好き」という気持ちがさらに高まるようにする。</li> </ul>

## 第1学年2組 道徳授業の流れ

1. 主題名「みんなの学校」 資料名「がっこうにはね」（出典：東京書籍）
2. ゲストティーチャー  
（1年2組保護者）
3. ねらい  
学校の人々に親しみを持ち、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。
4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
1. 学校にいる人たちについて話し合う。 ○九段小学校には、どんな人たちがいますか。  2. 「がっこうにはね」を読んで話し合う。 ○そうくんは、がっこうたんけんをして、どこにどんな人がいることに気付きましたか。 ○「がっこうには、たくさんのひとが いるんだね。」と言ったそうくんは、どんなことを考えていると思いますか。  3. 自分たちの生活を振り返る。 ○みなさんが九段小学校に入学してよかったな、楽しいなと思うことは、どんなことですか。  4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 〈内容〉自分が卒業した九段小学校の好きなおとこや素晴らしさについて、また、今の九段小学校への思いについて話していただく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの学校について考えを膨らませることで、ねらいに沿って考えられるようにする。</li> <li>・資料中の写真を提示し、視覚的にも理解しやすくする。</li> <li>・多くの方が自分たちの楽しい学校生活を支えてくれていることに気付けるようにする。</li> <li>・一人一人の考えや思いを、クラス全体に広げながらみんなのものにしていく。</li> <li>・実際に本校の卒業生の保護者の方から話を伺うことで、「九段小大好き」という気持ちがさらに高まるようにする。</li> </ul>

## 第2学年1組 道徳授業の流れ

1. 主題名「学校の自慢できるところ」 資料名「ひかり小学校のじまんはね」（出典：東京書籍）
2. ゲストティーチャー  
（2年1組保護者）
3. ねらい  
学校の人々を敬愛し、学級や学校の生活を楽しくしようとする心情を育てる。
4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
1. 自分たちの学校について知る。 ○私たちの学校の、今からどのくらい前にできたと思いますか。  2. 「ひかり小学校のじまんはね」を読み、話し合う。 ○学校の自慢できるところがなかなか思いつかないけんたたちは、どのような気持ちだったでしょうか。 ○笑顔で話す校長先生を見て、けんたたちはどんなことを考えたでしょう。 ○「自分たちでも、ひかり小学校の自慢できるところを探そうよ。」と話すけんたたちは、どんな気持ちだったでしょう。  3. 自分たちの学校の自慢できるところはどんなところか話し合う。 ○私たちの学校の自慢できるところはどんなところでしょう。  4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 〈内容〉九段小学校の卒業生である友達のお父さんから、当時の九段小学校の良いところや、思い出などについてお話ししていただく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校がどのくらい前にできたのかを考えることを通して、資料に興味をもてるようにする。</li> <li>・困っているけんたたちの気持ちに共感できるようにする。</li> <li>・誇らしげに話す校長先生の様子から、学校に愛着を抱くけんたたちの気持ちをおさえる。</li> <li>・前向きな気持ちになったけんたに共感させる。</li> <li>・ワークシートを活用する。</li> <li>・校舎の写真を提示して考えさせる。</li> </ul>

## 第2学年2組 道徳授業の流れ

1. 主題名「学校の自慢できるところ」 資料名「ひかり小学校のじまんはね」（出典：東京書籍）
2. ゲストティーチャー  
（2年2組保護者）
3. ねらい  
学校の人々を敬愛し、学級や学校の生活を楽しくしようとする心情を養う。
4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
1. 自分たちの学校について知る。 ○私たちの学校の、今からどのくらい前にできたと思いますか。  2. 「ひかり小学校のじまんはね」を読み、話し合う。 ○学校の自慢できるところがなかなか思いつかないけんたたちは、どのような気持ちだったでしょうか。 ○校長先生が笑顔で自慢しているのを聞いて、けんたたちはどんなことを考えたでしょう。 ○「自分たちでも、ひかり小学校の自慢できるところを探そうよ。」と話すけんたたちは、どんな気持ちだったでしょう。  3. 自分たちの学校の自慢できるところはどんなところか話し合う。 ○私たちの学校の自慢できるところはどんなところでしょう。  4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 〈内容〉九段小学校の卒業生からインタビューしたことを話していただく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校がどのくらい前にできたのかを考えることを通して、資料に興味をもてるようにする。</li> <li>・困っているけんたたちの気もちに共感できるようにする。</li> <li>・校長先生の様子から愛着を抱くけんたたちの気持ちをおさえる。</li> <li>・前向きな気持ちになったけんたに共感させる。</li> <li>・ワークシートを活用する。</li> <li>・校舎の写真を提示する。</li> </ul>

## 第3学年1組 道徳授業の流れ

1. 主題名「学級の温かさ」 資料名「みんな待っているよ」（出典：わたしたちの道徳3・4年）
2. ゲストティーチャー  
（3年1組保護者）
3. ねらい  
学級のよさに気付き、協力してよりよい学級をつくろうとする態度を育てる。
4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
1. 学級とはどのような所か考える。 ○学級とは、どのような所だとおもいますか。  2. 資料「みんな待っているよ」を読んで話し合う。 ○院内学級や3年3組のみんなは、メッセージや絵、手紙をどのような思いを込めてえみさんに送ったのでしょうか。 ○えみさんにとって、院内学級や3年3組はどのようなものだと思いますか。  3. 自分たちのことを振り返って考える。 ○学級のよい所はどんな所でしょう。（小集団で話し合い） ○あなたにとって、自分の学級はどんな所ですか。  4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 〈内容〉九段小学校で過ごした頃の楽しい思い出について語っていただく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級についての課題意識をもたせることで、ねらいに沿って考えられるようにする。</li> <li>・場面絵を提示する。</li> <li>・院内学級や3年3組とえみさん自身の考えを双方から考えさせることで、互いに思い合っている心情に気付かせる。</li> <li>・「心しなやかに」P.122~123を活用し、考えさせる。</li> <li>・自分で考え、グループで話し合い、全体で発表し、自分でまとめるという流れで、じっくり考えられるようにする。</li> </ul>

## 第3学年2組 道徳授業の流れ

1. 主題名「学級の温かさ」 資料名「みんな待っているよ」（出典：わたしたちの道徳3・4年）
2. ゲストティーチャー  
（3年2組保護者）
3. ねらい  
学級のよさに気付き、協力してよりよい学級をつくろうとする態度を育てる。
4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
1. 学級とはどのような所か考える。 ○学級とは、どのような所だとおもいますか。  2. 資料「みんな待っているよ」を読んで話し合う。 ○院内学級や3年3組のみんなは、メッセージや絵、手紙をどのような思いを込めてえみさんに送ったのでしょうか。 ○えみさんにとって、院内学級や3年3組はどのようなものだと思いますか。  3. 自分たちのことを振り返って考える。 ○学級のよい所はどんな所でしょう。（小集団で話し合い） ○あなたにとって、自分の学級はどんな所ですか。  4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 〈内容〉九段小学校で過ごした頃の楽しい思い出について語っていただく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級についての課題意識をもたせることで、ねらいに沿って考えられるようにする。</li> <li>・場面絵を提示して語り聞かせる。</li> <li>・院内学級や3年3組とえみさん自身の考えを双方から考えさせることで、互いに思い合っている心情に気付かせる。</li> <li>・「心しなやかに」P.122~123を活用し、考えさせる。</li> </ul>

## 第4学年1組 道徳授業の流れ

1. 主題名「学級・学校が好き」 資料名「見えない名札」（出典：文溪堂）

2. ゲストティーチャー

（4年1組保護者）

3. ねらい

先生や学校の人を敬愛し、自分たちの学校に対して誇りをもち、みんなで協力して楽しい学級・学校をつくろうとする心情を育てる。

4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
<p>1. 学校の自慢できるところを発表する。 ○学校の自慢できるところは、どこでしょう。</p> <p>2. 「見えない名札」を読んで話し合う。 ○他校の児童が「仲間に入れてよ。」と言ってきたとき、3人はどんな気持ちだったでしょう。 ○「イモ山小」と言われたとき、3人はどんなことを思ったでしょう。 ○お姉さんから「下山小という見えない名札を付けているのよ。」と言われたとき、3人はどんなことを考えたでしょうか。 ○3人は、どんな気持ちで、さっきの相手を追いかけていったのでしょうか。</p> <p>3. これまでの生活を振り返り、話し合う。 ○自分たちの学校の、どんなところが好きですか。また、学級や学校のことを考えて、どんなことをしていますか。</p> <p>4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 〈内容〉自分が卒業した小学校と九段小学校を比べて、今の小学校に考えてほしいこと。</p>	<p>・九段小のよいところを思い出させることで、資料に深く入り込めるようにする。</p> <p>・先輩の言葉をじっくり考えさせ、多様な価値観を引き出し、ねらいとする価値にせまる。</p>

## 第4学年2組 道徳学習指導案

1. 主題名「学級・学校が好き」 資料名「見えない名札」（出典：文溪堂）

2. ゲストティーチャー

（4年2組保護者）

3. ねらい

先生や学校の人を敬愛し、自分たちの学校に対して誇りをもち、みんなで協力して楽しい学級・学校をつくろうとする心情を育てる。

4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
<p>1. 学校の自慢できるところを発表する。 ○学校の自慢できるところは、なんですか。</p> <p>2. 「見えない名札」を読んで話し合う。 ○他校の児童が「仲間に入れてよ。」と言ってきたとき、3人はどんな気持ちだったでしょうか。 ○「イモ山小」と言われたとき、3人はどんなことを思ったでしょうか。 ○お姉さんから「下山小という見えない名札を付けているのよ。」と言われたとき、3人はどんなことを考えたでしょうか。 ○3人は、どんな気持ちで、さっきの相手を追いかけていったのでしょうか。</p> <p>3. これまでの生活を振り返り、話し合う。 ○自分たちの学校の、どんなところが好きですか。また、学級や学校のことを考えて、どんなことをしていますか。</p> <p>4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 〈内容〉卒業した小学校の様子や好きなどころ、地域からみた九段小学校の様子を語っていただく。</p>	<p>・九段小のよいところを思い出させることで、資料に深く入り込めるようにする。</p> <p>・先輩の言葉をじっくり考えさせ、多様な価値観を引き出し、ねらいとする価値にせまる。</p>

## 第5学年1組 道徳授業の流れ

1. 主題名「母校を愛する心」 資料名「さざんかの花」(学研)
2. ゲストティーチャー  
(5年1組保護者)
3. ねらい 生き方の土台作りに大きな影響をもつ母校の意義をとらえ、愛校心を育てながら先生や学級の友人への敬愛の心を養う。
4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
1. 校歌の歌詞やメロディについて話し合う。 ○九段小の校歌の好きなところを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九段小の校歌に改めて向かい合うことで資料への方向付けとし、意欲を高める。</li> </ul>
2. 資料「さざんかの花」を読んで話し合う。 ○私が、一年生になった我が子に伝えなかった小学校時代の一番の思い出は何だったでしょう。 ○私は、さざんかの花と一緒にどんな気持ちを贈りたかったのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が子にもこんな学校生活を送ってほしいという父親の願いに気付かせる。</li> <li>・物だけではなく児童の心の在り様や先生方との関係、地域等のつながり等、心情面まで広げてよさに気付かせる。</li> </ul>
3. 自分たちの学校のよさを見つけ、話し合う。 ○九段小学校のよさは、どんなところでしょう。	
4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 〈内容〉自分が卒業した小学校の好きなところや素晴らしさについて話していただく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母校の思い出を具体的に語っていただく。</li> </ul>

## 第5学年2組 道徳授業の流れ

1. 主題名「母校を愛する心」 資料名「さざんかの花」(学研)
2. ゲストティーチャー  
(5年2組保護者)
2. ねらい 生き方の土台作りに大きな影響をもつ母校の意義をとらえ、愛校心を育てながら先生や学級の友人への敬愛の心を養う。
4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
1. 校歌の歌詞やメロディについて話し合う。 ○九段小の校歌の好きなところを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九段小の校歌に改めて向かい合うことで資料への方向付けとし、意欲を高める。</li> </ul>
2. 資料「さざんかの花」を読んで話し合う。 ○私が、一年生になった我が子に伝えなかった小学校時代の一番の思い出は何だったでしょう。 ○私は、さざんかの花と一緒にどんな気持ちを贈りたかったのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が子にもこんな学校生活を送ってほしいという父親の願いに気付かせる。</li> <li>・物だけではなく児童の心の在り様や先生方との関係、地域等のつながり等、心情面まで広げてよさに気付かせる。</li> </ul>
3. 自分たちの学校のよさを見つけ、話し合う。 ○九段小学校のよさは、どんなところでしょう。	
4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 〈内容〉自分が卒業した小学校の好きなところや素晴らしさについて話していただく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母校の思い出を具体的に語っていただく。</li> </ul>

## 第6学年1組 道徳授業の流れ

1. 主題名「よりよい学校をみんなでつくろう」 資料名「ぼくたちのほこり」

(出典：東京都教育委員会「東京都道徳教育郷土資料集」 第4集 平成22年3月)

2. ゲストティーチャー

(千代田区元人権擁護委員)

3. ねらい 学校の一員としての自覚をもち、みんなで協力して自分たちの学校をよりよくしていこうとする態度を育てる。

4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
<p>1. 自分の学校の自慢できることや誇りに思っていることを話し合う。 ○九段小の自慢できることや誇りに思っていることは何ですか。</p> <p>2. 資料「ぼくたちのほこり」を読んで話し合う。 ○順二に代わって銀杏を拾ってくれる聡を見て、順二はどんなことを考えましたか。 ○柵に入るのをやめた時、順二はどんなことを考えましたか。 ○どのような気持ちから順二は早く学校に来ようと思いましたか。</p> <p>3. 学校をよくするために自分ができることを話し合う。 ○九段小学校をさらによくするためにどんなことができるでしょう。</p> <p>4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 (内容) 自分が卒業した小学校の好きなところや素晴らしさについて話していただく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九段小のよさに触れることで資料への方向付けとし、意欲を高める。</li> <li>・聡君のイチョウの木への思いに気付かせる。</li> <li>・イチョウの木を大切にす地域の人の思いに気付かせる。</li> <li>・自分もイチョウの木を大切にしていこうという思い、下級生にとって見本となる6年生になろうという思いに気付かせる。</li> <li>・母校の思い出を具体的に語っていただく。</li> </ul>

## 第6学年2組 道徳授業の流れ

1. 主題名「よりよい学校をみんなでつくろう」 資料名「ぼくたちのほこり」

(出典：東京都教育委員会「東京都道徳教育郷土資料集」 第4集 平成22年3月)

2. ゲストティーチャー

(民生児童委員)

3. ねらい 学校の一員としての自覚をもち、みんなで協力して自分たちの学校をよりよくしていこうとする態度を育てる。

4. 展開

○主な問いかけ	授業のポイント
<p>1. 自分の学校の自慢できることや誇りに思っていることを話し合う。 ○九段小の自慢できることや誇りに思っていることは何ですか。</p> <p>2. 資料「ぼくたちのほこり」を読んで話し合う。 ○順二に代わって銀杏を拾ってくれる聡を見て、順二はどんなことを考えましたか。 ○柵に入るのをやめた時、順二はどんなことを考えましたか。 ○どのような気持ちから順二は早く学校に来ようと思いましたか。</p> <p>3. 学校をよくするために自分ができることを話し合う。 ○九段小学校をさらによくするためにどんなことができるでしょう。</p> <p>4. ゲストティーチャーの方の話を聞く。 (内容) 自分が卒業した小学校の好きなところや素晴らしさについて話していただく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九段小のよさに触れることで資料への方向付けとし、意欲を高める。</li> <li>・聡君のイチョウの木への思いに気付かせる。</li> <li>・イチョウの木を大切にす地域の人の思いに気付かせる。</li> <li>・自分もイチョウの木を大切にしていこうという思いと、下級生にとって見本となる6年生になろうという思いに気付かせる。</li> <li>・母校の思い出を具体的に語っていただく。</li> </ul>